

研究内容の実証実験に向けた連携支援(ワンストップ)

創業者A (石川県)

農業関連特許(申請中)の事業化(創業)

1. 相談のきっかけ

「よろず支援拠点」の巡回PRのため、農業参入に積極的に取り組んでいる県内企業で技術顧問をしているA氏(元建機メーカー役員・金沢大学自然科学研究科大学院生)を訪問。その際に、農業関連特許の取得および特許実用化に関する法人設立の相談を受けた。

2. 課題整理・分析

具体的なヒヤリングを進める中で、特許申請予定内容が農作物(イチゴ)の生育促進に関する非常に革新的なものであることが分かった。一方、金沢大学の実験場で行える実験規模には限界があり、一定規模の農園における実証実験が課題となっていた。

3. 解決策の提案

「よろず支援拠点」の人脈を活用して、県内農園事業者の中から、イチゴ栽培が最も上手で、新商品開発等においてもチャレンジ精神旺盛な経営者を選定。A氏と同行して、農園経営者に対して、特許内容の説明と、当該農園での実証実験実施を打診する機会を提供。



4. 成果

A氏と農園の間で各種条件等について交渉のうえ、実証実験に向けた提携覚書締結の最終調整段階となっている。農園としても農作物の生育促進という、事業メリットが参加検討の動機付けになったとも考えられる。当該特許申請内容の実用化に向けた大きな一歩につながる取組になったと考えられる。